

令和4年1月4日

**令和3年度 第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
/第7回九州地区大学-高専若手研究者 研究・教育セミナー 合同大会
実施報告書**

実施日： 令和3年11月27日（土）
会場： オンライン
参加者総数： 57名（学生43名、教員14名）
参加費： 無料
担当校： 宮崎大学/鹿児島大学
実行委員長： 松根 英樹（宮崎大学）、武井 孝行（鹿児島大学）

実施内容

当初、第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会と第7回九州地区大学-高専若手研究者 研究・教育セミナーを別々にオンサイト開催する方向で模索していたが、コロナ禍が収束しそうになかったために、両者ともオンサイト開催を断念し、オンライン開催に切り替え、かつ合同で開催することにした。有料のオンライン会議システム oVice を利用した1日間の実施とした。プログラムは別紙1に示すとおりである。また、会計報告書を別紙2に示す。今回は、九州支部からの支援金で全ての費用を賄えることが見込めたため、参加費は無料とした。利用した会議システム oVice 2週間のトライアル無料期間中に準備を行い、1週間の有料期間中に会議を実施した。システムの利用は初めてなので不慣れであったが、oVice社の担当者の手厚いサポートにより準備を無事終え、当日は特に問題が発生することもなく予定通り進めることができた。

○ウォーニングアップ

11月27日11:00からオンライン会議システム oVice の操作方法についての説明会を開いた。

○ポスター発表

同日13:00から同じくオンライン会議システム oVice を利用して、学生によるポスター発表のセッションを実施した。学生ポスター発表の審査対象は43件(内訳:大学院生32名、学部生2名、高専生9名)であった。参加者全員が審査員となり、Webフォームを用いたオンライン投票によりポスター審査を実施した。

○研究室紹介（大学-高専若手研究者交流企画）

大学間、高専間、大学-高専間の交流を目的として、ポスター発表に続けて研究室紹介を oVice を利用して実施した。事前に各研究室で動画を準備してもらい、当日は oVice の中に専用のブースを用意しておき、学生が順次、回覧してまわるという方法で実施した。

○ポスター賞受賞者発表

実行委員長が審査委員となり，参加教員が集まってポスター賞について協議した．投票数に応じて，最終的に，上位 12 名を優秀賞として選出した．閉会式にて受賞式を行った．賞状と副賞（図書カード 3,000 円）は後日郵送した．受賞者一覧は別紙 3 に示す．

最後に，総合討論をして解散とした．次回、第 32 回大会は福岡大学 瀬戸弘一助教を世話人として開催される予定である．

以上

(別紙 1)

令和 3 年度 第 31 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
/第 7 回九州地区大学－高専若手研究者 研究・教育セミナー 合同大会 プログ
ラム

【プログラム】

11:00 ウォーニングアップ

12:00 昼休憩

13:00 開会式

13:10 ポスター発表 A セッション (90min)

14:40 休憩

14:50 ポスター発表 B セッション (90min)

16:20 研究室紹介 (I/Q-NET 会議)

17:00 ポスター賞投票終了

17:30 ポスター賞受賞者発表

17:40 総評

(別紙2)

令和3年度 第31回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
/第7回九州地区大学-高専若手研究者 研究・教育セミナー 合同大会
会計報告

○支出	
表彰関係 (図書カード)	36,000
会議システム利用料	27,500
雑費	25,465
アルバイト料	18,400
郵送費	1,575
支部への返納	589,743
支出計	700,003

○収入	
支部からの事業補助金	700,000
受取利息	3
収入計	700,003

(別紙 3.1)

ポスター賞受賞者 (12名)

No.	氏名	所属
A-1	田中敬佑	九州大学大学院工学府
A-3	小森千有里	九州大学大学院工学府
A-8	池田知広	九州大学大学院工学府
A-10	中村光児	九州大学大学院工学府
A-12	古田真理	九州大学大学院工学府
A-15	松岡大暉	佐賀大学理工学部
B-2	松永幹太	佐世保工業高等専門学校
B-3	津留崎優斗	佐世保工業高等専門学校
B-4	田辺祥吾	佐世保工業高等専門学校
B-10	岩切雄飛	宮崎大学大学院工学研究科
B-12	篠田瑞希	宮崎大学工学部
B-19	森満優斗	鹿児島大学大学院理工学研究科

(別紙 3.2)

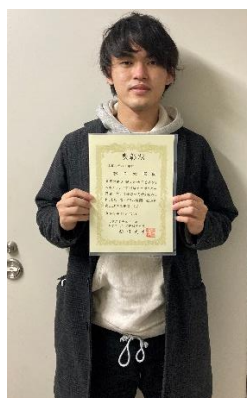


図 ポスター一賞受賞者